

希望ヶ丘こども園自己評価記録簿

	評価の着眼点	できている	できていない	できていない	できていない	備考
1	こども園の使命・役割を反映した理念や保育方針を策定し職員、保護者等に十分な理解を促すための取り組みを行っている。	○				
2	経営(運営)状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取り組みを行っている。	○				
3	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善するように努めている。	○				
4	研修に対しての基本姿勢が示され、個別職員に対しての教育・研修計画を策定し、実施している。		○			
5	職員研修の評価を行い、次の研修計画に反映されている。			○		
6	実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		○			
7	緊急時(災害、事故、感染症、食中毒発生時)に対応できるマニュアルがあり、組織として体制を整備し機能している。	○				
8	園児の安全確保のためのリスクを把握し、安全確保に向けた具体的な取り組みを行っている。	○				
9	虐待の対応時のマニュアルを作成し、関係機関に通告を行う体制が整っている。	○				
10	調理場、水周り、調乳室、調乳設備等の衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	○				
11	不審者の侵入時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。			○		
12	日々の保育の中で健康管理についてはマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態に応じて実施している。		○			
13	利用者と地域の関わりを大切にしている。	○				
14	利用者へのプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、その実際を行っている。	○				
15	利用希望者の保育所選択においては必要な情報を提供している。	○				
16	保育サービス開始の同意を得るにあたり、サービスの内容や家庭との連携、保健や健康管理等について保護者等にわかりやすく説明	○				
17	入園時に、子どもの育成歴、既往症、発達状況や課題を把握するために、子どもと保護者との面接等を行い保育に活かしている。	○				
18	転園する子どもには、その後の保育の継続性に配慮した対応を行っている。	○				

希望ヶ丘こども園自己評価記録簿

	評価の着眼点	できている	少しできている	てあまりできない	できていない	備考
19	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取り組みが行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。	○				
20	こども園全体のサービス内容について自己評価等の体制を整備し、評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にして		○			
21	自己評価等により明確になった課題に対する改善策・計画を立て実施している。		○			
22	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○				
23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容を適切に記録されている。	○				
24	保育所保育指針に基づき、保育計画、年間指導計画及び月間指導計画を作成し、整合性を図っている。	○				
25	月に1回以上指導計画の評価を行い、その結果を次の指導計画に活かしている。	○				
26	定期的に個別計画の評価を行い、その結果が次の個別計画に活かされている。	○				
27	内科検診、歯科検診、身体測定等の結果を保護者に知らせ、重要部分については保護者に説明し、同意を得るとともに、結果について保育での配慮がされている。	○				
28	アレルギー疾患等を持ち配慮を要する子どもや家庭への対応について、医師や関係機関、管理者からの助言・指導を受け保育内容や保育方法に配慮している。	○				
29	子どもが健康で快適に過ごせるように、戸外遊びをはじめ園全体においてにおいて整理整頓、清潔、清掃、採光、換気、照明、室温等への配慮をしている。	○				
30	食事を教育の一環として捉え、給食時のみならず保育内容に「食育」の工夫をしている。	○				
31	食事を楽しむことが出来る工夫をしている。		○			
32	子どもの食事の状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。		○			
33	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○				
34	子どもが主体的に活動出来る環境構成(遊具、絵本、教材)を確保している。		○			
35	身近な自然や社会資源と関わる取り組みを行っている。		○			

希望ヶ丘こども園自己評価記録簿

	評価の着眼点	できている	少しできている	てあまりない	できていない	備考
36	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○				
37	子どもの年齢や発達状況に合わせて、歌やリズム、絵や文字、様々な表現活動が自由に体験できるように配慮している。	○				
38	あそびや生活を通して人間関係が育つようにしている。	○				
39	子どもの人権に十分に配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。	○				
40	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○				
41	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○				
42	障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。		○			
43	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。		○			
44	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。			○		
45	一時保育は一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。		○			

令和 5年 3 月 20 日